

# いないいないばあ

— 平成 29 年冬号 —

● 発行元 ●

日本赤十字社富山県支部受託  
**富山県立乳児院**  
富山市牛島本町2丁目1番38号  
電話 076-432-8137  
FAX 076-432-8238

## みんなの思い出 クリスマス会

12月には、楽しみなクリスマス会がありました。ツリーが飾られた部屋で、みんなでイチゴのクリスマスケーキを食べました。それから、風船で作った誰の身長よりも高いBIGなリースにみんなでたくさん飾りをつけました。

リースが出来上がるとその前で『もみの木さんのクリスマスツリー★』のミニシアターを見たり、リトミック遊びでタンバリンや鈴を鳴らしてスキップしたり、歌っていると・・・遠くから鈴の音が近づいてきて、サンタクロースが来てくれました。

初めてサンタさんに会ったお友達はビックリ！ピョンと後ずさり。でもね、サンタさんは優しく手招きして大きな袋からプレゼントを一人ひとりに手渡ししてくれました。皆が大好きなオモチャ・・・どうしてサンタさんが分かったのかな？

「みんなよい子だからだよ。」  
「サンタさんありがとう。」



## 新年にゆせて

新年あけまして

院長 平岩 善雄

おめでとうございます。

平成29年は穏やかな元日で始まりました。子どもたちは体調を崩す子もおらず、外遊びなどをして元気に過ごしています。富山県立乳児院は昭和27年の設立から今年65周年を迎えます。富山県内に1か所の乳児院として、社会的養護が必要な乳幼児の養育に当たらせていただき、おおよそ二千名に近い入所児童をお預かりした事になります。

昨年末、60代の匿名の方から寄付の

お申し出があり、お話を伺うと「(当

乳児院にいたことがある。」「乳児院の

子どもたちに何かしてあげたい。」と温

かく熱い思いを聞かせてくださいまし

た。ひとえに年月の蓄積と担った役割で

ある子どもへの健やかな成長への支援が

図られているのか姿勢を正す思いを深

くしております。

日頃より、乳児院の運営には皆様方のご支援

を賜り感謝申し上げますが、本年も引き

続き温かく見守り下さいますことをお願い

いたします。

## 七五三詣り

11月の下旬、今年も

満3歳になる子どもたち

3名が七五三の参拝に行ってきました。

事前の衣装合わせの時には、初めて袖を

通す着物に女の子は目を輝かせてウキ

ウキ。早速ホッペに指をくつつけて「か

わいー」のポーズ。男の子は羽織袴に袖

を通して「わあ、かっこいい」と一言。

参拝当日は、しっかり着付けをしてもら

い、張り切って出発しました。神社に着

くと少し緊張した面持ちでしたが、静か

に座って御祈禱をしていただきました。

引率した担当職員は、千歳飴や風船を

持って社殿正面で写真を

撮る子どもたちの

健やかな成長が嬉しく

感慨ひとしお：笑顔が

こぼれていました。



## 行事

### ひなまつり

子どもたちの  
健やかな成長と  
幸せを願って

祝います♪



11月

- 上野 真由美さん(千葉県)
- アノヒ ZenKichi 稲澤 廣明さん(富山県)
- 稲吉 庸子さん(東京都)
- 門司 一徹さん(東京都)
- 渡部 啓司・恭子さん(愛媛県)
- 栗田 英子さん(富山県)

- 江隈 浩子さん(埼玉県)
- 藤野 龍平さん(富山県)
- 日本ベビーフード協議会さん(東京都)
- よしだ医院 院長 吉田 誠さん(富山県)
- 渡部 啓司・恭子さん(愛媛県)

- 公益社団法人 富山善意銀行 理事長 河合 隆さん(富山県)
- 井本・八田さん(富山県)
- コンビ株式会社さん(東京都)
- コンビネクスト株式会社さん(東京都)
- 稲吉 庸子さん(東京都)
- 川端 康裕さん(富山県)



富山県里親講演会  
広めよう里親

inとやま 2016

平成28年10月16日、富山県民共生センターサンフォルテにおいて、里親制度の普及を目的に富山県里親講演会「広めよう里親」とやま2016を開催しました。会場には、里親制度に関心のある方や里親さん等100名近い皆さんが参加されました。

当日は富山県における里親制度についての説明の後、「すべての子どもに笑顔を〜里親として17人の子どもたちと過ごした31年間〜」と題し、里親ひろば ほんつぱ代表坂本 洋子さんの講演がありました。



『家庭がはぐくむ笑顔』

富山県では約80組のご家族が里親登録されています。里親家庭の子育てや思いを、里親さんの言葉で記していただきました。

●その十四

不妊治療中、子どもがでできなかった時の、その後の生活を色々考えました。区切りをつけようと考えていたときに、里親制度を知りました。二人だけの生活も楽しいだろうと思いましたが、やはり子どもと接したいという気持ちがいつもありました。

後悔はしたくないと考え、主人に相談しました。不妊治療を終え、その大変さから私が解放されて安心していたところに、この相談だったのです、主人はとても驚き、少し悩んでいました。でも最後には理解してもらえ、二人で里親登録しました。

今は家族の形も、様々だと思つたで、里親家庭を温かく見守っていた

だきたいです。私自身、事情で祖父母に育ててもらいました。改めて子どもにとって実親以外でも、頼れる人、帰る家は、心の安定に繋がっていると強く感じます。

里親として子どもを迎え入れることができれば、子どもが安心できるような笑顔の絶えないお母さんでいたいと思います。主人には、今までと変わらず優しく温かいお父さんでいてほしいです。

小さな力とは思いますが、色々と学びながら、子どもと接していきたいと思えます。



富山県立乳児院病児保育室『おひさま』は体調不良のお子様をお父さんお母さんに代わって、家庭的な雰囲気の中で保育します。

～富山県立乳児院  
“病児保育室『おひさま』だより”～



冬は気温や湿度が下がるために感染症が流行しやすくなります。手洗い、マスクの着用が予防策の第一に上がります。お部屋の乾燥予防で加湿器を利用される方もいます。体内に侵入してきたウィルスをブロックするためマスクでの口元の湿度を保つことも効果があります。

のどが乾燥してカサカサしていませんか。冬でも水分補給を心掛け、小さい子どもには周囲にいる人が気をつけてあげましょう。



スタッフ日誌より

- 病気の子どもと何して遊ぶ?
- おひさまでは静かに遊べるものの提供を心掛けています。特に子どもたちはお絵かきが大好き。画用紙いっぱいにお絵かきした後は、シールを貼ってデコレーションしてみたり、年齢の高い子どもは折紙を組み合わせてオリジナルの街やすごろくを作ったりとど
- んどん遊びを発展させていき、子ども達の発想に驚かされることも多々あります。
- 完成させたお絵かきを嬉しそうに見せてくれる子ども達の笑顔をこれからも見守りながら楽しく遊べるよう心掛けていきたいです。

ご利用の際は、ご連絡ください。076-432-8137

※夜間のため23～5時までは、予約のお電話をご遠慮ください。

●利用時間

7時30分～18時

☆乳児院の理念☆ 児童福祉法及び児童憲章に基づき、安全で安心できる良質な生活の場を提供します。